

システムワークフロー検討作業部会 2023年度活動報告

1. 活動概要

第36回これからの学術情報システム構築検討委員会において承認された「活動計画」を基に、JUSTICEとの連携や電子ブックメタデータ（国内）のプロトタイプ版の公開、コーディングマニュアルNCR2018対応版の作成ならびにパブリックコメントの募集、公開を行った。その他を含め、2023年度の各班の主要な活動については、以下のとおりである。

2. 活動内容

1. 国内電子・デジタル資料検討班

・ 活動概要

- (1) 書誌データ提供の調整とデータ検証（電子ブック）
- (2) ユーザーグループ SNS イベント「国内電子ブック&デジタルアーカイブのメタデータ流通促進」での説明（デジタルアーカイブ）
- (3) メタデータのマッピングテスト（デジタルアーカイブ）

・ 活動詳細

- (1) 書誌データ提供の調整と各種検証（電子ブック）

前年度までの国内電子ブックのプラットフォームベンダーと書誌データ提供に関する折衝や各種調整の成果を受けて、電子リソースデータ共有班と調整のうえ「電子ブックメタデータ（国内）」プロトタイプを公開した。

- (2) ユーザーグループ SNS イベント「国内電子ブック&デジタルアーカイブのメタデータ流通促進」での説明（デジタルアーカイブ）

図書館総合展 2023 関連企画として 2023 年 10 月 30 日におこなわれたユーザーグループ SNS イベント「国内電子ブック&デジタルアーカイブのメタデータ流通促進」において、デジタルアーカイブのメタデータの JPCOAR スキーマ以外のフォーマットからの流通に関する説明と意見交換をおこなった。

- (3) メタデータのマッピングテスト（デジタルアーカイブ）

「電子リソースデータ共有サービス」をつなぎ役として、JPCOAR スキーマに対応していないデジタルアーカイブのメタデータを IRDB に流通させることを想定した。そのうえで複数機関からサンプルとして選び出したメタデータについて、「電子リソースデータ共有サービス」に取り込むために、MARC21 へのマッピングの検討をおこな

っている。

2. メタデータ流通の高度化検討班

- ・ 活動概要

- (1) NCR2018 を適用したコーディングマニュアル (CM) 改訂案の作成 (目録)
- (2) 著作の取扱い範囲の検討 (目録)

- ・ 活動詳細

- (1) NCR2018 を適用した CM 改訂案の作成 (目録)

新 NACSIS-CAT への NCR2018 適用について、適用細則案に基づいた CM 改訂案の作成を進めている。

2023 年 10 月 30 日に図書館総合展のこれから委員会ユーザーグループ SNS イベントで、NACSIS-CAT への NCR2018 適用のセッションを担当した。

2023 年 12 月 22 日から書誌データに関する章の CM および目録情報の基準の案を公開し、パブリックコメントを募集している。2024 年 2 月 26 日に CM 改訂案説明会を実施する予定。

- (2) 著作の取扱い範囲の検討 (目録)

NDL や他の書誌作成機関との情報交換会に参加し、オンライン会議や ML での情報収集を実施、著作データを作成する資料の範囲の検討を行い、CM 案に反映した。

3. 統合的発見環境の整備班

- ・ 活動概要

- (1) 統合的発見環境及び次期 ILL システムの検討
- (2) シェアードプリントに関する調査

- ・ 活動詳細

- (1) 統合的発見環境及び次期 ILL システムの検討

料金決済モデルを中心に、次期 ILL システムに関する検討を行った。

2023 年 10 月 30 日に図書館総合展 2023 ユーザーグループ SNS イベントにメンバーが登壇し、電子ジャーナルの ILL と料金決済モデルについて、ユーザーグループ参加機関メンバーと対話を実施した。

国立大学図書館協会システム委員会の資料・情報アクセス検討 WG と協力し、DDS や Rapid ILL 導入館のインタビュー調査に陪席し情報収集を行った。

CiNii Books が CiNii Research に統合される方針が NII から示されたため、NII 担当者と打合せを実施し、統合的発見環境の具体的なシステムが CiNii Research になる

予定であることを確認した。また、今後も NII 担当者と連携を行うこと、統合的発見環境実現のために必要な要件を提案していくことを確認した。

(2) シェアードプリントに関する調査

今年度は統合的発見環境及び次期 ILL システムの検討を重点的に行ったため、本活動は次年度以降に繰り越すこととした。

4. 図書館システム整備班

・ 活動概要

(1) 「図書館システムガイドライン」の検討

(2) Alma の統計ツールの検討

・ 活動詳細

(1) 「図書館システムガイドライン」の検討

複数大学での図書館システム共同調達を想定し、図書館システムに求める要件を利用機関の規模等を加味して具体化した「図書館システムガイドライン」の検討を行い、令和 5 年度図書館総合展の SNS イベントにおいて、図書館システムガイドラインやシステムの共同調達・運用について、これまでの検討の背景や事例の説明を通して、参加者とその意義や目的について共通理解を図った上で、「ガイドライン (案)」の一部 (13 カテゴリーのうち 4 つ) を公開して、Discord を用いたユーザーグループに意見徴収を開始した。

➤ Discord 上で共有したカテゴリ：

1. 「図書館システムガイドライン」について
2. システム全般
3. サポート／コミュニティ
4. 共同調達・運用

※ 詳細 → [参考資料 1. 図書館システムガイドライン \(案\) \[2023 年 10 月 30 日時点\]](#)

また、国立大学図書館協会国大図協システム委員会と、図書館システムガイドラインおよびシステムの共同調達・運用に関する意識あわせ・意見交換の打合せを行った。

・ 日時：2023 年 12 月 7 日

・ 意見交換の概要、今後のタスク等

- システム委員会が図書館システムベンダーにインタビューをする中で、早慶をモデルにした業務一元化がメリットになるという話題があり、この点は新たな知見なので情報を共有いただければガイドラインに加えたい。
- ILL の電子的提供・無償化などについて、システム委員会の調査結果に基づく提案を共有いただきガイドラインに加えたい。

- 図書館システムの共同調達・運用を行うには、何年前から始める必要がある、といったタイムテーブル（ライフサイクル）をガイドラインに追記する。
- システム委員会が、国内ベンダーとの対話の場を主催し、これから委員会も参加する。
- システム委員会からこれから委員会へガイドラインにとどまらず活動内容のインタビューを行い、国大図協ウェブサイトに掲載する。

(2) Alma の統計ツールの検討（本年度で終了）

Alma に付属するオラクル製の「ビジネスインテリジェンスツール」（BI ツール）および「データ可視化ツール」について、COUNTER による利用統計取得ほか各種統計の収集、出力、分析機能の検証を行った。詳細については別添資料の検証（報告）を参照。

参考資料 2. 北海道大学における Alma Analytics の検証（報告）

5. 電子リソースデータ共有班

・ 活動概要

- (1) 「タイトルリスト（JUSTICE）」のテスト公開
- (2) 「電子ブックメタデータ（国内）」のプロトタイプ版公開

・ 活動詳細

- (1) 「タイトルリスト（JUSTICE）」のテスト公開

JUSTICE および学術コンテンツ課と調整しつつ、JUSTICE 提案を基にしたタイトル情報について、JUSTICE 会員館がダウンロードサービスを介して利用が行えるように、2023 年 12 月より「タイトルリスト（JUSTICE）」のテスト公開を開始した。

- (2) 「電子ブックメタデータ（国内）」のプロトタイプ版公開

国内電子・デジタル資料検討班と調整しつつ、電子ブックのプラットフォームベンダーから提供されたメタデータと、openBD から入手したメタデータを統合し、共有するための「電子ブックメタデータ（国内）」プロトタイプ版を 2023 年 10 月より公開した。

6. ERDB-JP 運用作業班

・ 活動概要

ERDB-JP の定常運用

・ 活動詳細

ERDB-JP 統計（2023 年 12 月 28 日現在）

- ・ ユーザ数：
 - パートナーA：133
 - パートナーB：78
- ・ コンテンツ数：46,675 タイトル

以上